



柏ビレジ・ニュース



2008年最初の
柏ビレジ・ニュースです

2008年3月29日

お知らせ

第27回柏ビレジ自治会定時総会開催

第27回柏ビレジ自治会定時総会が次の通り開催されます。
ビレジの皆様のお出席、討論よろしくお願ひします。

▽日 時 平成20年4月13日(日) 午後一時から

▽場 所 花野井小学校体育館

餅つき大会と凧揚げ大会

新年になり、1月13日に餅つき大会が、ビレジの公園で、1月27日には利根川川沿いで柏市主催の凧揚げ大会が行われました。どちらの大会も晴天に恵まれ、活況に充ち、楽しい大会でした。

餅つき大会に参加して

事業部 蓑輪 洋

1月13日、近隣公園において、新年恒例の餅つき大会が開かれました。前日は悪天候に見舞われた上、三連休の中で、天候と人出が心配でしたが、そのようなことはよそに、当日は、たくさんの方にご参加いただきました。準備は前日の小雨降る中、もち米150キロ、豚汁においては、大根50本、豚肉25キロなど、家庭では当然みることのない大量の食材との戦いからはじまりました。役員の方々には、米をといでいただき、子ども会の母様方には、豚汁食材の仕込み作業を頑張っていたいただきました。そして、いよいよ迎えた



パッタン、パッタン

当日。前日の天候とは一変、晴天に恵まれ、たくさんの方にご来場いただきました。長蛇の列にはとにかくビツクリ！休みなくお餅を配り、豚汁をつくっては運び、大会関係者の皆様は忙しくお疲れだったと思います。ポロンと石臼でお餅をつく心地いい響き、公園のあちこちで語らいながら美味しくいただく姿をみて、穏やかな気持ちになりました。真面目なお話をすると、実はこの餅つき大会、有事の炊き出し訓練の意味合いをもっており、同じ街の方同士で、結束して食を供給する訓練を行えるこのイベントは、私自身、大変勉強になりました。来年からは、マナーを守り、感謝の気持ちをもってお餅と豚汁をいただきますと思います。今回、実行委員長を務めさせていただきましたが、サポートに駆けつけていただいた諸先輩方、子ども会のお母様方、自治会役員、支部長・副支部長の方々、その他多くの方々のご協力で無事終えることができました。連日朝早くの準備から後片付けまでお疲れさまでした。

餅つき大会にて

子供会 中野 加奈子

新しい年を迎えた一月十三日。心配された雨も前日には上がり、澄んだ冬の空の下、恒例の柏ビレジ餅つき大会が開催されました。数日前から、近所の方から配布時間を確認されたり、結婚した娘が新しい家族を連れて遊びに来るとい話を耳にする機会がありました。地域の大きな行事である事を改めて実感し、ビレジ内外の方達が楽しみにしていること知りました。子供会としては、例年どおり豚汁を担当することとなり、前日の土曜日は、近隣センターの調理室にて、食材の下ごしらえをしました。食材の多さに驚きながらも、皆で心を配り、協力しながら作業を進めました。また、子供会だけでは力の及ばない事には自治会の方々の協力もいただき、スムーズに調理作業をすることができました。当日は朝から仕上げの作業です。鍋に大根、ごぼう、豚肉と、前日に下ごしらえした八種類の食材を入れ、味噌をとき、さらに大鍋へと移していきました。配布の時間が近づくと、徐々に公園が賑わい始めました。石臼でお餅を搗く威勢の良い掛け声が響き、豚汁の鍋からは味噌のいい匂いが漂っています。多くの方々に配布を待つ列に並んでいたとき、また、何度もおかわりをしてくれる方もいて、とても嬉しく感じました。何より、搗きたてのお餅と温かい豚汁で皆さんの笑顔があふれ、寒さを吹き飛ばす楽しい一日になった事と思います。最後に、自治会役員、地元のお店や業者の方々、そしてビレジ自治会が一堂に集まり、餅つき大会を通して、新年を祝うことができました。心から嬉しく思います。



凧々揚げ

凧揚げ大会に参加して

子供会 斉藤 令子

例年参加者が少ないので、今年は子供会会員の皆さんに呼びかけを行いました。今時、手作り凧の教室にどのくらいのお誘いがあるのか、回覧が戻るまで見当もつかず心配をしておりましたが、四十人もの方々の申し込みに驚きました。お父様方の参加も多くなりました。スタートとなりまして。十二月に凧作りの先生を迎え、皆思い思いの絵を凧に描き熱心に作成し、楽しそうでした。「いつ飛ばせばいいの?」「おももちの時に飛ばしていいの?」と、自分の凧を早く飛ばしてみたい子供たちが待ちどおしい様子にしているのが印象的でした。大凧作りは私たちが役員にとつても何もかもが手探り状態で、昨年の大凧を張り替えるためにボードで糊付けされた骨組を解体するのは容易ではありませんでした。自治会副会長の山崎さんのアドバイスにより、何とか形にすることが出来ました。私は今回大凧の図案を任せられ「子どもでもないものを引き受けてしまった。」と後悔していましたが、何とか子供会らしい絵を完成する事ができました。凧揚げ当日は、十二時からコンテストに、十一時から揚げた子供たちの凧は少々失速気味になってしまいましたが、大凧は自治会の方々の健闘により何回か墜落をするも、見事大空に舞い感動でした。惜しくも賞をとる事は出来ませんでした。が、ビレジの大凧が揚がったのは実に「七年ぶり!」の事でした。健闘を称えよう役員の方々がまるで少年のように眼を輝かせておられたのがとても印象的でした。コンテストが終わり冷えきった体に、自治会で用意して下さったすいとんがとても美味しく、芯から温まる事ができました。

この一年を振り返って自治会、子供会の皆さんに思いのたけを綴って頂きました。皆さんの感想はそれぞれですが、柏ビレジへの熱い、深い思いが、どの文章からも伝わってくるような気がします。

少子高齢化と自治会の今後

自治会会長 押田 英雪

柏ビレジ自治会も発足して二十六年目を迎え、ビレジニュースは前々号で第百号目の発行となりました。毎年のことですが、役員定数の八割超は初めて自治会役員になり、任期の一年間、職務を遂行していただいています。

自治会の今後の重要課題は少子高齢化です、現状に对应できる自治会運営の組織改革が優先です。

昨年5月現在で六十五歳以上九十歳代までの方々が七百五名居住しています、ビレジ居住人口の約十五%となります。団塊世代の高齢者予備群も毎年増加しています、逆に子供達は減少し、花野井小学校の児童数は四百名を割っています。自治会は二年前に福祉部を創設し、新樹会・アイビースロン等と連携の緊密を図っています。

また、だれもが自由に気軽に立ち寄り相談できる、コミュニケーション「はなみずき」も多くの皆様にご利用いただいています。ボランティアの皆様のご協力に厚く御礼申しあげますと共に今後も宜しくお願います。



子供達が被害者になる事件は現在も全国各地で発生しています、小中学校と連携を図り、特に下校時の防犯に地域住民が協力できたらと思います。ボランティアの地域活動への積極的参加のお願い。特に団塊世代の皆様、是非お願いします。

少子化と子供達の安全について。ビレジ内の転出・転入が増加しています。昨年度は五十世帯程有り、若い世代の方が転入しています、微少ですが世代交代の兆しが見えます。

一年間の自治会活動

副会長兼総務部長 林田 尊虎

今年度の大きな活動内容で見ることができれば管理は会員名簿の制作と事業活動の見直しでした。まず会員名簿の制作ですが、当初予定より完成日が諸々の事情により今のところ遅れています。申し訳ございません。三月中には会員の皆様の手元に配布できる予定です。制作にあたり、昨年度会員の皆様にお名前等の掲載、非掲載アンケート調査を行いました。アンケート用紙の配布や回収時には班長様、支部長様はじめ多くの方々のご協力をいただきました。回収後、誤った記載が行われないように項目ごとの記載チェックを事務局員、女性役員により数日間をかけ入念にチェック確認を行いました。この書面をお借りしご協力いただきました全ての皆様に御礼申し上げます。

続いて昨年九月、会員名簿制作委員会を立ち上げました。会員の皆様にご協力いただき、記事はどのような記事か、どのよう構成した方が見易く利用し易いものができるか等議論を重ねその結果、従来の名簿を参考にいくつかの点を改訂いたしました。主な改訂内容は、①会員名を苗字から探したい。②名簿リストは街区順の掲載に加え音順ページも設けました。③各団体の規約が一冊

気がつけば一年経って

副会長兼環境部長 瀬尾 迪郎

この一年一つ一つの行事をこなして行き、気が付けば一年が経っていたと言うのが、正直な気持ちです。一年の行事の最初が、春のクリーンデーで、環境部長としての最初の仕事始め。各支部の清掃受け持ち範囲

活かされていない、少しずれていくのではと反省する点があるように思いました。事業見直し一年目の最初の事でしたから今後の見直し事業のヒントとして活かしていきたいと思えます。

最後にありますが、今年度の役員メンバーには、若い方々が増えて楽しく活力のある運営活動ができた一年間だったと思います。その若い役員の方々の数は数年前に入居された新しい会員の方々の数でした。転出も有りますが、ビレジ自治会には最近、年間約四〇件以上の新しい入居者の方々が転入され新会員として登録されています。また、成人と

が決められていたましたが、例年に無く、多数の会員の方々の参加にて無事終了する事が出来ました。秋のクリーンデーは枯葉の収集が主になりましたが、百二十袋以上の収集となり無事終了となりました。ゴミネットの補助金限度額が現状の物価にスライドして三千円から三千五百円に改定されネット購入が現状に合う様になりました。第一支部のゴミ集積所問題も一ヶ所適当な場所に増設出来無事解決となりました。又

第五支部の行き止まり標識も市の道路維持課への働きかけにより、適当な電柱への表示板設置となり無事解決となりました。住民の方々の苦情の取り上げとなった「庭の植木について」のお願い、「犬の糞害のお願い」の回覧を七月、八月に実施致しました。

以上環境部長として実施、携わった事を書きましたが、どの行事にしても他の役員の方々の協力が無ければ出来ない事ばかりであり、この場を借りて感謝申し上げます。又環境部以外のかかわりとして、凧揚げ大会大凧が空高く舞い上がったのには自己満足と共に、自治会の益々の隆盛を象徴している様な出来事として特記出来る事と思えます。又晴天の



クリーンデーのごみの山

いつのまにか一年を迎え

副会長 菅野 えり子

おそろおそろ始まった副会長としての活動でしたが、あれよあれよという間に、疾風怒濤の波にのまれてしまいました。最初は自治会の備品の配置さえ分からずとまどうばかり。行事の度に大騒ぎして、いつのまにか一年を迎えようとしています。いまだに自治会のうわべが分かったくらいですが、貴重な体験をさせて頂きました。老若男女の皆様方と協力して行事をこなし、触れあえたことが大きな収穫です。

柏ビレジもご多分にもれず高齢化の波はひたひたとさしこまっています。現にゴミ出し、ゴミ当番の問題もできています。各行事は、柏まつり田中地区大会、夏まつり、田中地区市民運動会、文化祭、ランドゴルフ大会、もちつき大会、田中地区凧揚げ大会とあり、役員負担を軽減させるため見直しも必要かと思えます。一方、子供たちには、幼き頃のあたたかい思い出

下でのランドゴルフ大会では初めてのチャレンジにして準備は万全、立派な銀メダル頂戴し、自分でもびつくりと言う次第です。来期も微力ながら役員として残り頑張らせて頂きますので宜しくお願致します。

下でのランドゴルフ大会では初めてのチャレンジにして準備は万全、立派な銀メダル頂戴し、自分でもびつくりと言う次第です。来期も微力ながら役員として残り頑張らせて頂きますので宜しくお願致します。

一年を振り返って

副会長兼事業部長 山崎 秀樹

事業部では年間計画に沿って、自治会内では「夏まつり」「文化祭月間」「餅つき大会」を行い、地域行事として「七夕祭り」「運動会」「凧揚げ大会」に参加しました。各事業には沢山の住民の皆様に参加して頂き、そして何よりも大きな事故も無く全ての事業を無事終えることができたことを報告できることを大変嬉しく思います。各事業に於いては良かった所や反省点など多々ありましたが、これらの課題や成果は役員会の中できちんと話し合いまとめましたので、これらを引き継いでいくことが大切だと思っています。

各事業にご協力を頂いた関係者、団体の皆様には心からお礼を申し上げます。「夏まつり」では踊りの会、疾風太鼓、ガールスカウト、図書ボランティアの皆様、そして民生委員の皆様をはじめとする多くのボランティア団体の皆様にもご協力を頂きました。「文化祭月間」では出展者の皆様はもちろんのこと「はなみずき」の皆様や、花野井・田中小学校、田中中学校にお世話になりました。商店街の皆様にも様々な場面で格別のご配慮を頂き事業を支えて頂きました。今年度は各

防災部のこの1年を振り返って

防災部長 野村 芳守

初めての自治会役員が防災部長とのことで、自分勤まるのかなと思いつつスタートしたこの1年で、皆様の協力を得てどうにか無事終えることができたのでほっとしております。防災部主管の行事で最大のもの、夏季冬季年2回の防犯パトロールです。本年は、夏季8日の計画でしたが、荒天中止が2日あり、6日の実施。冬季も8日の計画が参加者不足で2日の開催不能、荒天中止が2日で4日の実施となりました。パトロールにご参加の住民の皆様には紙面を借りてお礼を申し上げるとともに今後ともご協力いただけましたら幸いです。

ただ、以前と比べますと協力いただく方が減少してきており実施計画にも支障をきたすケースが出てきています。互いの親近感や連帯感が育まれていないとすれば、この願いにも通じる素晴らしいことだと思えます。

柏ビレジ住民の皆様、自治会や子供会の役員活動は大変ですけれども、知り合っても増え得るものも沢山あります。来年度以降役員になられる皆様もどうか楽しみながら活動を続けてください。今後の柏ビレジ自治会の発展を願っています。

福祉部の課題

福祉部長 永谷 智寿子

念願であった柏ビレジ福祉部として、多くの方々に協力いただけるようまえばるな活動計画と自治会活動のPRの必要性を感じております。

柏消防署大室分署の協力を得て初期消火訓練を12月8日に近隣公園で実施し自治会所有の小型ポンプの放水訓練等を行いました。そのときの消防署のかたのお話で「柏ビレジは小火さわぎはあったが火事は発生したことがない。こんなに大きな町なのに30年ちかく火事がないのは住人の皆さんの防火意識が相当高いことの証だ」とお褒めの言葉をいただきました。

また当日の高齢者テントではアイビーサロンの方々に接待をお願いした。メンバーの見慣れた笑顔は高齢の方に安堵感を持っていただけたと思う。アイビーサロンは、柏市都市プランの1つ、高齢者を対象とした「おせっかい活動」を行っている。毎月1回自治会館で、対話を楽しみ、他に食事会、演奏会、小学生との触れ合い会、そして保健師による健康相談（血圧測定）などを行っている。

一年間支部長を引き受けて

第八支部支部長 川村 史也

一年間柏ビレジの自治会役員の方、支部の皆様にご愛お世話になりました。私一昨年の11月に柏ビレジに引越して参りましたが、支部長を引き受けさせて頂いた当初から大変お世話になりました。私自身田舎育ちで子供の頃に良く近所の大人と近所の神社のお祭りなどで山車を牽いたり、運動会に参加したりした記憶があります。しかし最近では都会はもとより地方でもこの様な地域との繋がりが薄くなっていると感じており、私が子供の頃体験したような事はもはや無くなってしまうのと思っています。しかし、一年間の行事の中で今もこの街にはそのような文化が生きているのを感じました。懐かしさを感じると同時に自分の子供達の世代にも自分と同じ様な体験をして欲しいと思いました。

私が育った所とは場所も時代も変わっておりますが、このように一つ地域に住む様な人が交流する文化が今後も続いて行くことは、これからの社会ではまた重要なことになって来るとは思いません。

柏ビレジ



柏ビレジ ここにあり

運動会



運動会

二〇〇七年度 支部長体験記

第二支部支部長 新倉英子

柏ビレジの住人となつて10年余り、今年度初めて支部長を体験しました。昨年3月、前任の支部長さんから、今年度の該当者は、新倉さんよと言われお引き受けしましたが、引継ぎの日をど忘れして前任者や今年度の副支部長さんに、大迷惑をかけるという、あまり芳しくない幕開けで、私の支部長生活はスタートしました。

引き受けした時点では、求職中の専業主婦でしたので、私がメインでやることにしました。自治会の仕事は夫婦で協力してやろうというのが、我が家の基本方針でした。その後仕事も与えられ、副支部長さんや夫にも協力してもらい、なんと今年度末を迎えられました。また今年度から、回覧書類の配布が、はつきり副支部長の仕事になった事も助かりました。

子供の経験はありましたが、自治会の活動は、首を突っ込んでみて初めて解った事が殆どでした。

行事に関しては、参加してみると楽しい行事ばかりでした。特に意外な目的を持っていたのが「餅つき大会」です。「餅つき大会」は、参加すること自体も初めてでしたが、楽しい年中行事の側面の他に、災害時の炊き出し訓練を兼ねているそ

子どもの成長とともに

梶 優子

また、普段係わる機会が無いところにも出入り出来ました。文化祭の時に「はなみずき」(シヨッピングセンターにあるコミュニティスペース、設立目的は住民の相互交流、特に高齢者の引きこもり防止)のお手伝いをさせて頂いた。おとなしく入りづらかった「はなみずき」の敷居が低くなりました。

今年度は、忙しい年代である30代のパパさんたちが多数役員に加わって活躍されていきました。そういう様子は、地区の活動などを奥様に任せっぱなしにしている熟年世代の方たちにも大いに刺激になったようです。

自治会の活動は、行事だけでは無く、街灯の管理やゴミの問題等、住民の苦情等、多岐に亘っています。

近年、首都圏の大規模団地等で、老人の孤独死や治安の悪化、スラム化などが問題になっていますが、自治機能が低下するとそれらの問題は簡単に発生し、それが、住宅価格にも影響します。自治会機能を高く保つことは、結果的に私たちの利益になるのです。

たしかに、無駄に感じる行事もありまじし、もっと効率的な役割分担が出来ないかと感じることもありましたが、その事は自治会本

緑豊かな柏ビレジに引越してきて三年目。私が自治会役員のお話を頂いたのは、産後二ヶ月も経たない頃でした。引き受けたはいものの「本当に務まるの？」と不安が募りました。

4月、初めての役員会がありました。その帰り道、満天の星空は美しく、それまでの不安や緊張もゆるみました。子どもから離れ、ひとりで歩くなんて久しぶり！ちよっぴりリフレッシュです。けれど家に戻ると夫の疲れきった顔がありました。なにしろ二時間泣き通して、ずっと抱っこしたままだったとか。子どもがようやく三ヶ月になった頃でした。

ビレジの年間行事は多彩です。役員活動があるときには、夫に預けて参加します。様子を見るため、会場

から家まで、自転車で行き越してきて三年目。私が自治会役員のお話を頂いたのは、産後二ヶ月も経たない頃でした。引き受けたはいものの「本当に務まるの？」と不安が募りました。

4月、初めての役員会がありました。その帰り道、満天の星空は美しく、それまでの不安や緊張もゆるみました。子どもから離れ、ひとりで歩くなんて久しぶり！ちよっぴりリフレッシュです。けれど家に戻ると夫の疲れきった顔がありました。なにしろ二時間泣き通して、ずっと抱っこしたままだったとか。子どもがようやく三ヶ月になった頃でした。

ビレジの年間行事は多彩です。役員活動があるときには、夫に預けて参加します。様子を見るため、会場

一年を振り返って

子供会副会長 黒澤 亜希子

昨年三月に子供会を引継ぎ受けてから、ようやく一年が過ぎようとしています。最初の頃は、これまで地域の行事にあまり参加したことがなかったこともあり、わからないことばかりで、不安で一杯でした。それでも一年間全ての行事を無事に終えられたのは、自治会の方々の支援と、子供会役員同士協力し合ったからこそ、と思っています。

子供会役員として私が何より一番驚いたことは、行事の多さでした。「七夕」、「夏祭り」、「運動会」の三大イベントの他に、「餅つき」、「風揚げ」、等これ程地域の行事が多いところは初めてでした。

子供会の活動は、土・日に行くことも多く、家族の協力がふさいでも、散歩しながら、挨拶を交わされる方々がいるのはうれしいことでした。地域で子育てをしていく自信が持てました。

役員の仕事は大変でしたが、充実感も強く感じています。これから育っていく子どもたちのためにも、いきいきとした街であり続けたいと願っております。

親しみやすい街に住みたいと思っている。そのためには住民自身の協力と努力が必要なのだということを考えさせられる一年となりました。



夏祭りで子供たちと

仕事をしながらの子供会活動はかなり大変なものでした。その一方で、年々子供の数も減り、来年度は役員数を減らさざるを得ない状況になりました。子供達が、地域の中で人のふれあいや体験を通じて、楽しく生活できることは親として喜ばしいことです。しかし、少子化が進み役員数も減っていく現状では、今までのような子供会の活動を維持していくことが、年々困難になっていくと思われま

子供会の体制や活動内容を見直さなければならぬ時期が来ている様に思われます。厳しい現状ではありま

すが、子供たちが地域の方々とつながりの中で健康やかに成長していける環境であり続けて欲しいと思っております。

最後になりますが、自治会の方々、役員の皆様には感謝の念で一杯です。自治会役員および子供会役員の皆様、一年間御協力ありがとうございました。

お蔭様で、この3月満2年を迎えることになりました。これはひとえに、皆様方のお引き立てと励ましのお言葉が在ったからこそと、心から感謝申し上げます。

この度、念願のピアノを購入出来ましたのも、沢山の方々からのご協力を得られた事で叶いました。私たちボランティアにとつて一番の喜びです。

「はなみずき」を立ち上げる前、皆様にアンケートに答えて頂いた時、ミニコンサートが出来る場所と言う希望が2番目に多かったからです。これで最低条件が揃った事でほんと致しました。

昨年、自治会に協力して文化祭を催し、沢山の方に楽しんで頂きました。日曜日を開けるのに慣れていなかったボランティアの方々にはちよつと大変でしたが、今回初めての事なのでお互いに良く頑張ったと思いま

す。

これから先「はなみずき」で、文化祭が行われて行くのであれば、もうひとつ工夫する必要があるとおもいます。ビレジはかなり高齢者が増えていきますから、学校の体育館をお借りして文化祭を催すのは、自治会の役

お蔭様で満二年です

はなみずき代表 谷川 真理



新しいピアノで

員にとつてもなかなか重労働になってきています。来客数にしても多くもなっていないものになっていて考え直す時期に来ていたとおもいます。

「はなみずき」も、3年目に入り地域に根付いて、皆様に広くご利用して頂き私たちが忙しい中から時間をさいてお手伝いする事に達成感を感じられたら、多少の喜びを感じる事でしょう。皆様、どうぞピアノをご利用くださいませ。お気軽にどうぞ。

文化月間の「はなみずき」